

## 平成27年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	富沢 文洋
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3518
<b>事務事業名</b>	4197 基盤整備促進事業										
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課										
<b>施 策</b>	05012200 農業の活性化										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費									
	<b>事業</b>	050000 基盤整備促進事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
基盤整備事業により、果樹等の集出荷時の荷傷み防止、機会化による合理化を促進し、農家経営の合理化・安定を図る。						果樹主体」の須坂市の農業振興のため、集出荷時の荷傷み防止・機会化を促進するための基盤整備事業を実施することで、須坂市農業の経営の合理化・安定化を図る。					

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
福島中島地区、井上地区	井上地区
平成26年度 実績	平成27年度 予定
井上地区	井上地区

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		37,275	25,978
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	12,875
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		37,275	13,103
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.7	0.5
総額		37,275.0	25,978.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	職員給料
11節 需用費	57	消耗品、燃料
13節 委託費	2,009	測量設計業務
15節 工事請負費	31,239	農道整備工事
19節 負担金補助及び交付金	177	土地改良連合会賦課金
その他	3,793	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	職員給料
11節 需用費	0	消耗品、燃料
13節 委託費	1,510	測量設計業務
15節 工事請負費	23,800	農道整備工事
19節 負担金補助及び交付金	177	土地改良連合会賦課金
その他	491	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	良好で品種がよい農作物を、合理的安定的に輸送運搬をするため基盤整備は必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	基盤整備により、良好で品質のよい農作物のまま、安全、迅速の輸送運搬が図られ、農業経営の安定が図られている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	設計、構造内容の見直しを行い、コスト削減に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
コスト削減と早期発注に心掛け、効率的で早期の事業完了に努める

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
井上地区は、平成27年度完了予定。		井上地区基盤整備事業は完了予定	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	